

北米向けクロスオーバーSUV「MAZDA CX-50」を世界初公開

-米国新工場で生産される、北米市場での新たな基幹車種-

マツダ株式会社(以下、マツダ)の北米事業を統括する「マツダノースアメリカンオペレーションズ(Mazda North American Operations)」(米国カリフォルニア州アーバイン)は北米向けクロスオーバーSUV「MAZDA CX-50(マツダ シーエックス フィフティ)」を本日初公開しました。

CX-50は、マツダにとって最重要市場の一つである米国におけるビジネスを支える基幹車種として、SUVらしい存在感やオフロード性能を求める米国を中心としたお客さまのニーズを取り込み、北米のラインナップに新たに追加するクロスオーバーSUVです。トヨタ自動車株式会社との合弁新工場「Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc. (以下、MTMUS)」(米国アラバマ州ハンツビル)にて2022年1月より生産を開始する初のマツダ車となります。



MAZDA CX-50

CX-50は、マツダのデザインテーマ「魂動(こどう)-SOUL of MOTION」のエlegantな上質感とSUVに求められる力強さとタフな機能性を融合させた、自然の中でも際立った存在感を放つクロスオーバーSUVです。オフロードでも安心な最低地上高を確保し、またルーフへの積載性や使いやすいパッケージング、パノラマサンルーフを採用するなど、お客さまにアウトドアアクティビティを楽しんでいただけるようにしています。エンジンは、ガソリンターボエンジン「SKYACTIV-G2.5T」もしくはガソリンエンジン「SKYACTIV-G2.5」に全車「i-ACTIV AWD」を組み合わせ、さらに「MAZDA INTELLIGENT DRIVE SELECT (マツダ インテリジェント ドライブ セレクト)」によってオンロードの人馬一体の走りはそのままに、多種多様な路面においても高いコントロール性による安心・安全な走りを提供します。また数年以内にハイブリッドモデルも追加する予定です。

マツダのジェフリー・エイチ・ガイトン専務執行役員 北米事業統括、マツダモーターオブアメリカ,Inc.(マツダノースアメリカンオペレーションズ)社長兼 CEO は、「米国新工場 MTMUS で生産する初のマツダ車となるCX-50 は、米国を中心とするお客さまのニーズを十分に取り込んだモデルとしてマツダの北米市場への強いコミットメントを示すものです。この商品を通じ、お客さまとの特別な絆をさらに深めていきたいと考えています」と述べました。